



### 腎不全と診断される

予期せぬ出来事②

私の体内には今、二つのことに万全はないと思いが始  
ベースメーカーが入っている。一つは今回新たに植え  
込んだもの、もう一つはト  
ラブルを起こした今までの  
ものが体外に取り出される  
ことなくそのままになって  
いる。

最近はこの傾向が多いと  
言われれば、知識のない  
患者である私は「それで  
すか」と言う以外に言葉  
はない。唯、ベースメーカ  
を植え込んで約20年、全  
く安全なもの信じ込ん  
でいたが、今回の緊急入  
院・手術で、人間がする  
のかと遠慮がちに聞く。

手術とあわせているんな  
検査をした結果、腎臓に  
障害があることがわかつた  
ので、入院を続け、食事療  
法で改善を図るとのこと。

管理栄養士に聞くと、  
主食のご飯は普通のもので  
はなく、「低たんぱくご飯」  
とのこと。おかずは塩分が  
1日4gに抑えてあり、  
カリウムをあまり取らな  
いように、生野菜や果物  
は禁止。果物は缶詰のも  
の、生野菜は煮るか炒め  
て食べるとのこと。

上、家族に心配をかけた  
から仕方ない。しかしこれ以  
前、家族に心配をかけた  
くない。  
ただ、腎臓病食には音  
をあける。出される食事  
について来る伝票を改めて  
よくみると「腎不全B」  
とある。  
許可が出る。入院中に一  
番感じたのは病人の多いこ  
と。特に私のような高齢  
者が多い。そのどの顔にも  
明るさや希望が感じられ  
ない。相手の人も私をそ  
う見ているのだらう。

余りテレビは見えないが、  
BSの番組でイタリアなど  
ヨーロッパの老人の生活が  
放映される。何か、日本人  
よりも老いを豊かに、のん  
びりと残された人生を生活  
しているように見える。

退院すると、庭の草花  
が自分を待っていたように  
雑草の中で元気に花を咲か  
せている。アジサイの一種の  
アナベル、その横にはアガ  
バナサス、立派なアガ  
前の山からはまだウグイ  
スが鳴いている。自然に囲  
まれたこの環境の中で「花  
を愛でる人たちが集う空  
間」でありたい。何とか健  
康を少しでも取り戻し、  
心豊かに今日を生きたいと  
思うが、このまま死を運ぶ  
不安を多く感じるのも事  
実。とにかくきつい。



しばらく留守をしても庭の花は咲き乱れる

### 腎臓病の人の おいしいレシピブック



### 腎臓病食も大変なものも食べるのも作るのも

あること  
は聞かさ  
れていた  
が、「眠れ  
るとはい  
え、腎臓  
まで悪い  
のはショ  
クである  
この50  
年間の暴  
飲暴食が  
原因であ  
り、自業  
自得だか  
らくでも人工透析をし  
なくてはならない患者に比  
べれば薬なものらしい。  
新しく「ベースメーカー」  
を入れ替えれば元気になる  
と思っていただけに、先が  
真っ黒になる。今回の西日  
本豪雨災害で避難生活を  
強いられる人々に比べ  
れば天国のようなもの。  
理屈ではわかつていても  
りだが、すべて自分中心に  
物事を考えるので、心は  
暗くなるばかりである。  
家で食事療法を続ける  
というのでやっと退院の